

十一年前の十一月、私は病で倒れました。幸運にも翌年七月、舞台復帰を果たすことが出来ました。

この十年という年月は、得意としている女形の役を一つ一つ掘り下げて行くとともに、今まで遣うことのなかった「忠臣蔵」の大星由良助や「すしや」の権太などの立役を遣う機会にも恵まれ、ただひたすら日々の舞台をつとめて参りました。

此の度の、文化功労者に顕彰されるとのおしらせは本当に思いがけなく、病を得てからのすべての思いが、舞台に立つことで報われた、六歳の時に人形遣いという道を選んで良かったと、しみじみ感じております。

この後も、まだ遣ったことのない役に挑戦して芸の幅を広げ、生ある限り文楽のために尽くしたいと思っております。

師匠、先輩、そして舞台を見て下さるお客様、私を支えて下さった全ての方々に、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

平成二十一年十月

吉田 巖 助